

2023年
4-6月期

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、着実に回復しつつある。

●2023年4-6月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



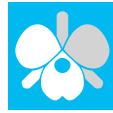
ふつう

個人消費



やや良い

建設関連



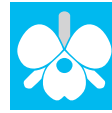
ふつう

観光関連



ふつう

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

2023年4-6月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数は共に前年同期を上回りました。

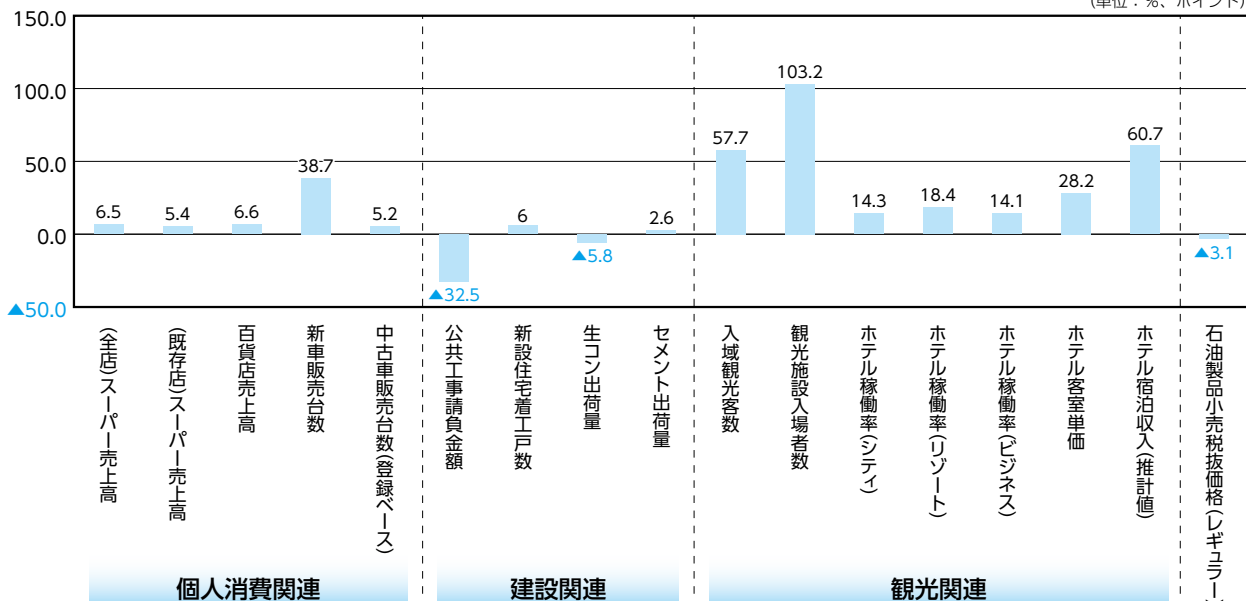
建設関連では、公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、その他の公共的団体の発注工事の減少により前年同期を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を上回り、建設資材である生コンは前年同期を下回り、セメントは前年同期を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同期を上回り、観光施設入場者数も前年同期を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同期を上回りました。ホテル客室単価は前年同期を上回り、宿泊収入（推計値）においても前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。建設関連は、民間工事の持ち直しの動きに弱さがみられます。観光関連は、全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加などから着実に回復しつつあります。よって、「**県内景況は、着実に回復しつつある**」と判断いたしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





個人消費



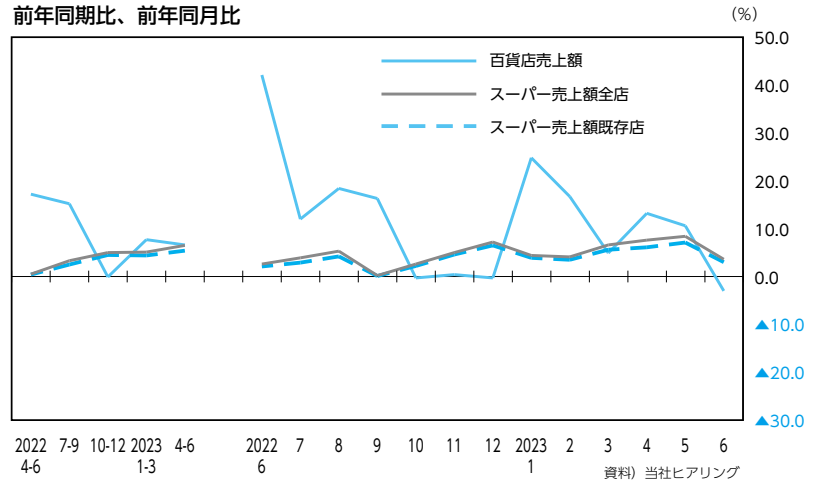
(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2023年4-6月期の個人消費関連は、**スーパー売上高は「全店ベース(前年同期比6.5%増)」**で前年同期を上回りました。品目別では、「食料品(同7.4%増)」は物価高の影響などにより前年同期を上回りました。「衣料品(同5.3%増)」、「家庭用品(同3.2%増)」は新型コロナウイルスの5類移行に伴う来客数の増加や外出需要の高まりなどにより前年同期を上回りました。

「既存店ベース(5.4%増)」は、前年同期を上回りました。(以下、既存店ベース)品目別では、ウェイトの高い「食料品(同6.2%増)」は、物価高の影響などにより、前年同期を上回りました。「衣料品(同4.9%増)」、「家庭用品(同1.2%増)」は、新型コロナウイルスの5類移行の影響等により前年同期を上回りました。

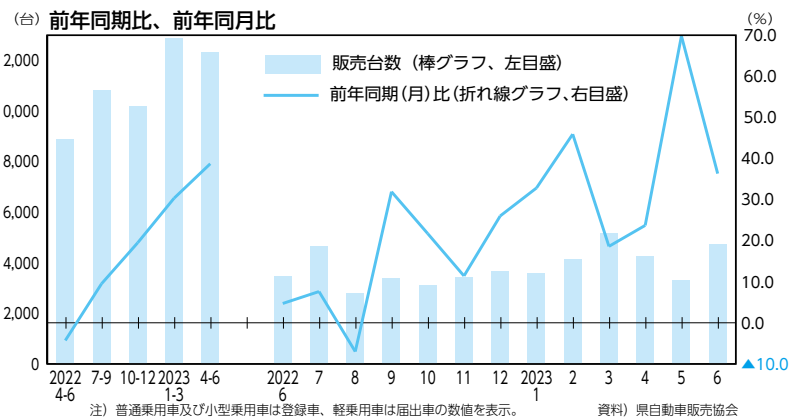
百貨店売上高は来店客数の増加などにより前年同期を上回りました。(同6.6%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同8.1%増)」は、外出需要の高まりなどにより前年同期を上回りました。「食料品(同5.8%増)」は、来店客数の増加や、催事企画が好調だったこと、一部物価高の影響などから、前年同期を上回りました。「身廻品(同1.8%増)」、「雑貨(同5.4%増)」においても、来店客数の増加などにより前年同期を上回りました。



② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を上回る。

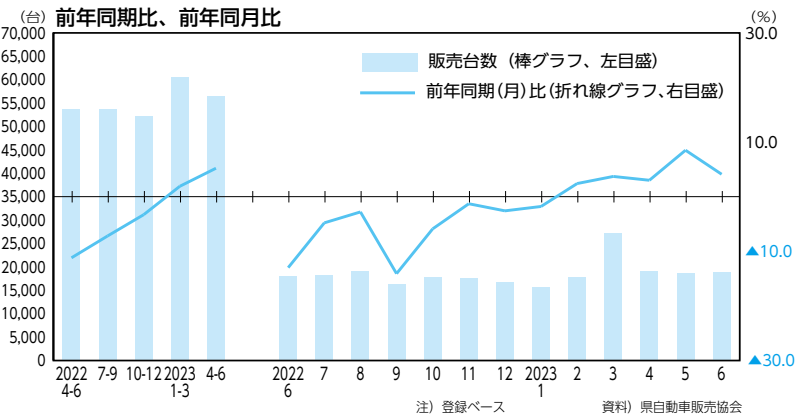
新車販売台数は、全体で12,313台(同38.7%増)となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同105.3%増)」、「小型乗用車(同37.6%増)」、「軽乗用車(同23.0%増)」は、供給制限が緩和傾向にあることやレンタカー需要の増加などにより、前年同期を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



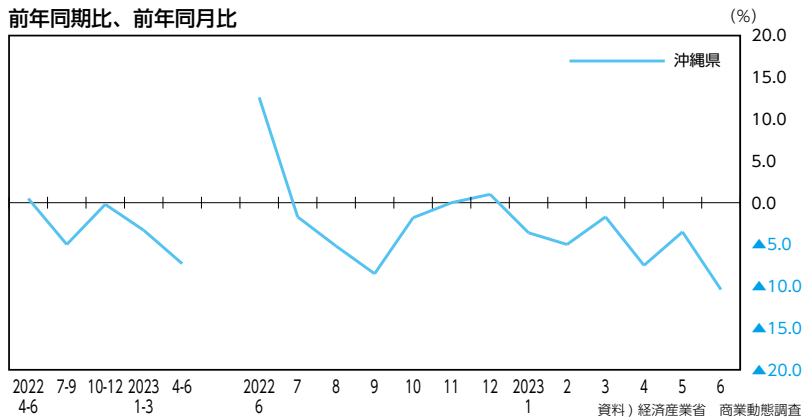
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を上回る。

中古車販売台数は、全体で56,520台（同5.2%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同5.2%増）」、「軽乗用車（同6.2%増）」共に、中古車価格相場の落ち着きなどにより、前年同期を上回りました。



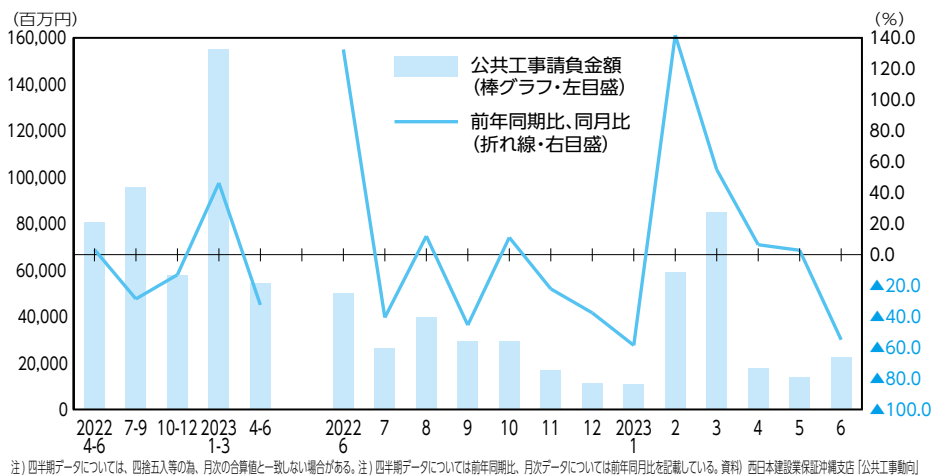
④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同期を下回る。

大型家電専門店販売額は前年同月を下回りました。



建設関連 (ふつう)

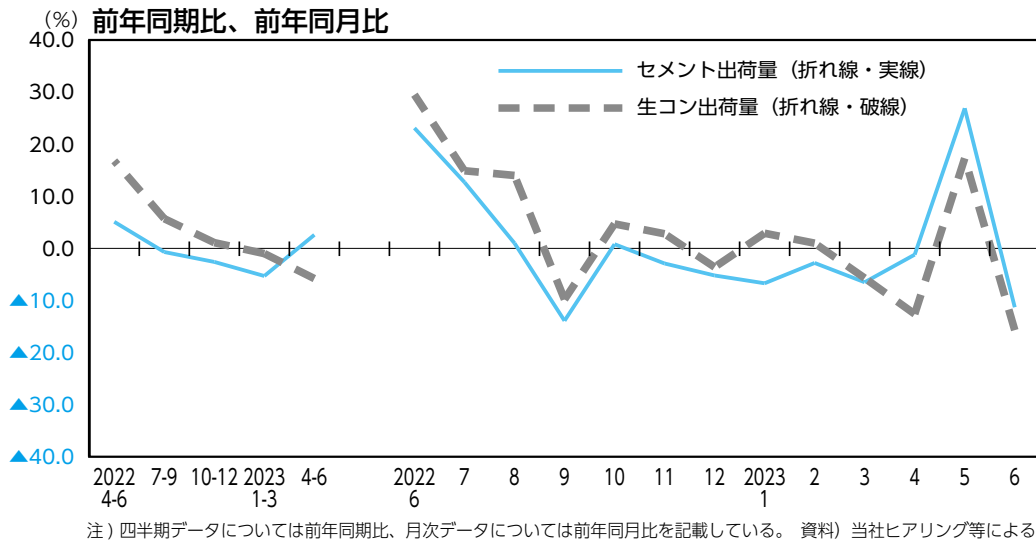
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を下回る。



2023年4-6月期の公共工事請負金額は、前年同期比32.5%減の543億6,400万円となりました。発注者別でみると、「国(同56.6%減)」、「独立行政法人等(同79.3%減)」、「その他の公共的団体(同67.0%減)」は前年同期を下回りました。一方、「市町村(同40.8%増)」、「沖縄県(同20.7%増)」は前年同期を上回りました。

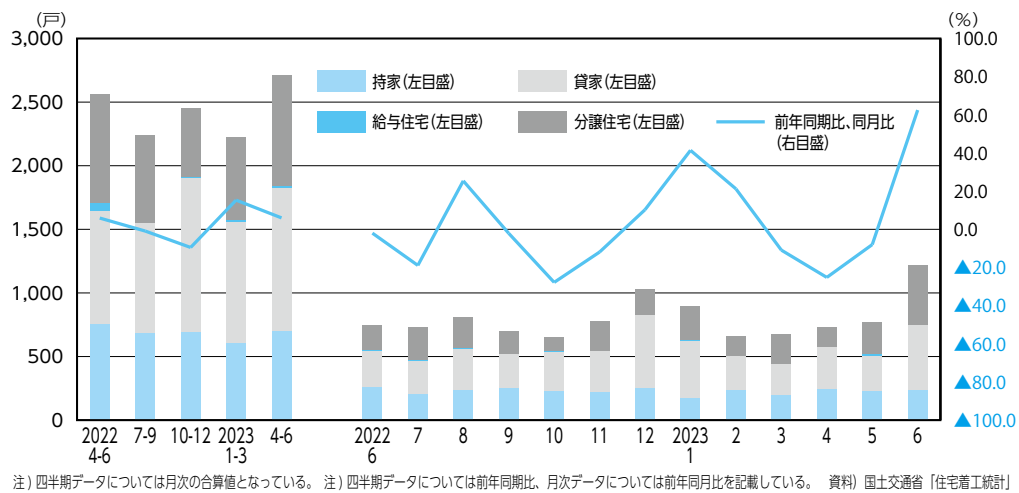


② 建設資材…生コンは前年同期を下回り、セメントは上回る。



2023年4－6月期の建設資材関連では、**生コン**の出荷量は5.8%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は13.4%減、民間工事向け出荷は1.8%減と前年同期を下回りました。**セメント**出荷量は2.6%増と前年同期を上回りました。

③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を上回る。



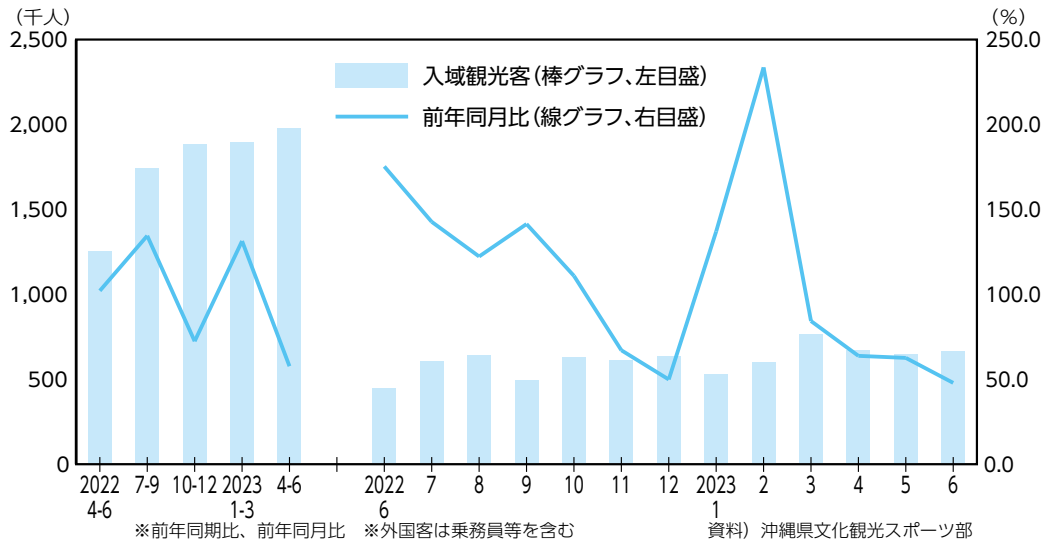
2023年4－6月期の新設住宅着工戸数は、全体で前年同期比6.0%増の2,714戸となりました。利用別戸数をみると、「貸家 (同27.0%増)」、「分譲住宅 (同1.9%増)」は前年同期を上回りました。一方、「持家 (同7.5%減)」、「給与住宅 (同69.2%減)」は前年同期を下回りました。

観光関連

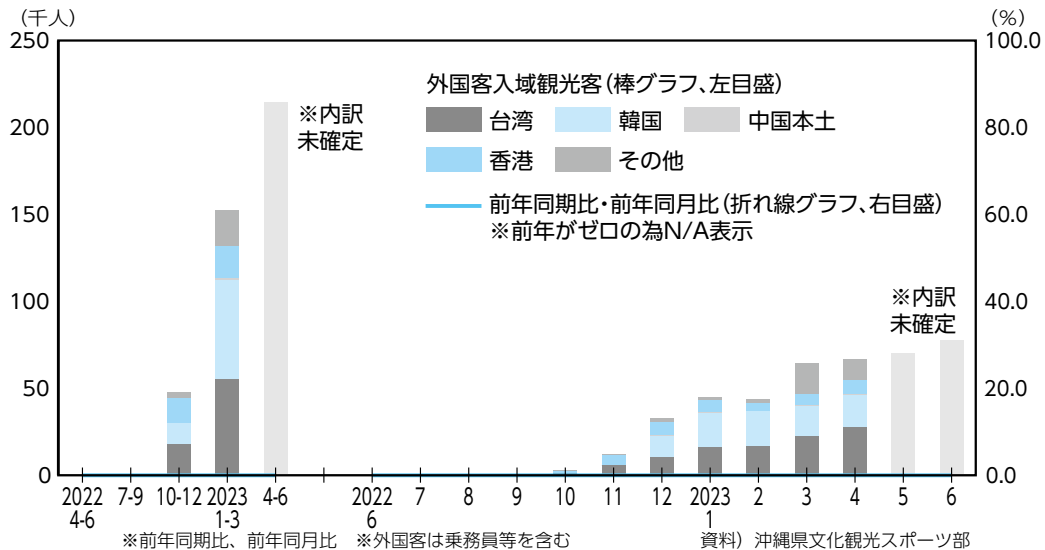


(ふつう)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。



② 外国客 入域観光客数…前年同期同様、皆減。



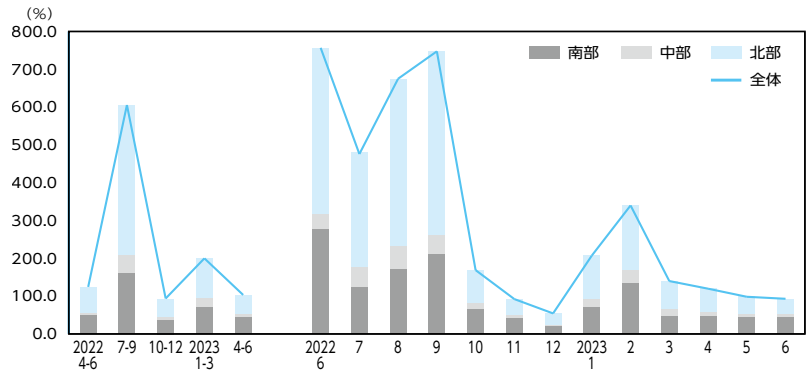
2023年4-6月期の入域観光客数は、旅行需要の拡大や全国旅行支援の継続などから、9四半期連続で前年同期を上回りました。

外国客は各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、緩やかな回復がみられます。今後は団体旅行解禁などから、中国本土からの観光客増加が見込まれています。



③ 観光施設入場者数…各地域において前年同期を上回る。

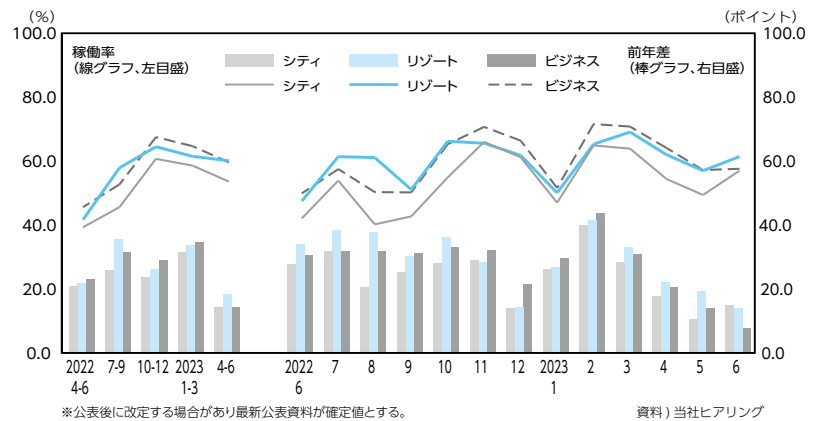
観光施設入場者数は、全体で前年同期より103.2%増加しました。地域別にみると、北部にある観光施設は同85.8%増、南部は同125.6%増、中部は同136.0%増とすべての地域において前年同期を上回りました。



※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設 ※グラフは全体の寄与度を表示。
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。注) 棒グラフは各地域の寄与度を表している 資料) 当社ヒアリング

④ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回る。

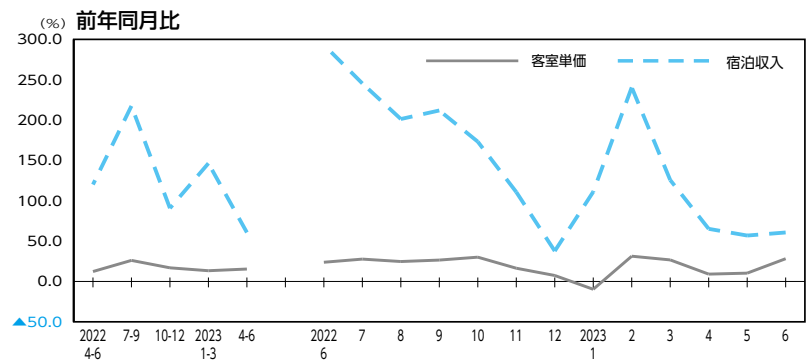
2023年4-6月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが53.6%と前年同期差14.3ポイント上昇、リゾートホテルが60.1%と同18.4ポイント上昇、ビジネスホテルが59.6%と同14.1ポイント上昇しました。



※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。資料) 当社ヒアリング

⑤ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同期を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同期比15.4%増、宿泊収入も同60.7%増と前年同期を上回りました。



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。資料) 当社ヒアリング



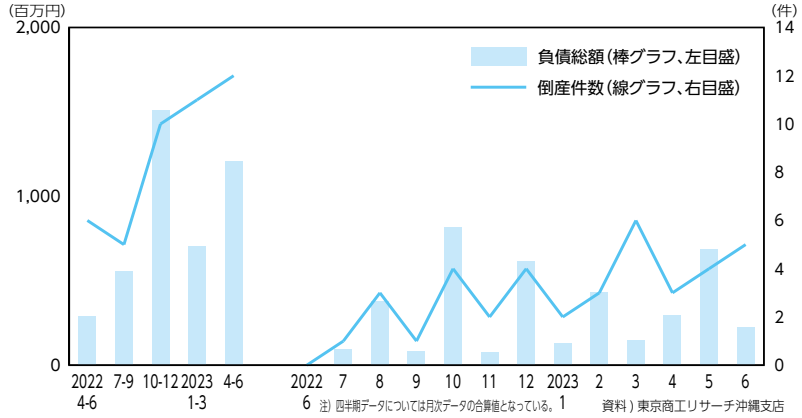
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を上回る。

2023年4-6月期の企業倒産件数は、12件（うち大型倒産（負債総額10億円以上）はなし、大口倒産（負債総額1億円以上10億円未満）は5件）となり、前年同期より100.0%上回りました。**負債総額**は12億800万円となり、前年同期を316.6%上回りました。



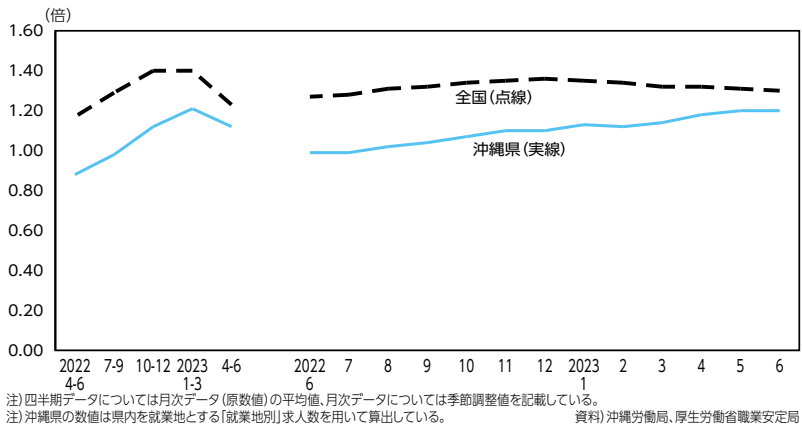
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…前年同期を上回る。

2023年4-6月期の雇用状況は、有効求人数（四半期平均）は前年同期比12.8%増の33,236人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比10.9%減の29,698人となり、有効求人倍率（同上）は1.12倍となり前年同期より0.24ポイント上昇しました。



② 完全失業率…前年同期を上回る。

2023年4-6月期の完全失業率 (原数値平均)は、3.5%となり前年同期より0.7ポイント上昇しました。

